

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和6年第4回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 32
令和7年2月

特

集

建設業

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

特

集

建設業

in あおもり

今回のテーマは「建設業」です。建設業は、道路、鉄道、河川等、私たちの暮らしに欠かすことができないインフラ整備の担い手であり、災害時には最前線で復旧作業に当たります。また、本市においては冬期間の除排雪も担い、地域社会の安全・安心の実現に大きな役割を果たしていますが、近年、就業者の高齢化や若年層の担い手確保、働き方改革への対応等が課題とされています。そこで今回は、市内建設業者の株式会社鹿内組の佐々木順一専務と西田彰部長のお二人にお話を伺いました。

〔議員〕 本日はよろしくお願ひします。まずは、事業内容について教えてください。

〔西田部長〕 当社は土木、建築がメインですが、建設に関連する様々な業種を行う総合建設業の会社です。そのほか、新青森県総合運動公園の管理運営も行っています。

〔議員〕 建設業界が担う役割の一つとして、除排雪がありますが、除排雪事業の進め方に関して、市に對する要望はありますか？

〔西田部長〕 1つは、工区除雪の請

負金額の精算方法を、稼働した時間を反映した方式にしてほしいということですね。工区は、道路延長と回数等で基本的に金額が決まります。よって、除排雪に出動した時間と請負の金額が連動していない部分があるので、やはり出動した分は支払ってもらうという形が一番いいのかなと思います。

〔議員〕 これから除雪をやる業者もだんだんいなくなってしまうのではないかと、また、重機のオペレーターの確保もこれから大変ではないかと思っておりますので、やはり見直すところは見直していきたいと思えます。そのほか、市に對する要望はありますか？

〔西田部長〕 除排雪の連携という部分で、どこかの業者が除排雪を市の指令どおり行えないときに、やれるよと手を挙げた業者が、できない業者の分を実施する仕組みが



今回、取材にご協力いただいた佐々木専務（左奥）、西田部長（左手前）と取材を行った議会だより編集会議委員。

あります。この協力を実施すると、入札の際に有利になるポイントがつくので、率先して協力したい業者もいます。しかし、協力する業者の選定方法が分からず、後になって対応した業者がどこか分かるんです。ですから、協力を広く依頼し、手を挙げた業者の中から一番近いところの会社を選ぶなどといったルールをつくっていただければありがたいです。

〔議員〕 ありがとうございます。ところで、近年、建設業就業者の高齢化や若年層の担い手確保が課題とされていますが、高校生等へ会社をPRする機会がありますか？

〔佐々木専務〕 今、県では小・中学生、高校生に対し、建設業への入職促進を図るための取組が盛んで、当社も一生懸命PRの場に出向いて、説明会やインターンシップ生の受入れ等を行っています。ま

だまだ足りない気がします。やはりSNSを活用し、こちらから発信しないと駄目だと当社でも話しています。

〔議員〕 人材確保は、ほかの業界でもすごく悩んでいますね。

〔西田部長〕 そうですね。あと、ホワイトインパルスと言われる青森空港の除雪や八甲田山の除雪隊も、なかなか成り手がいないので頭が痛いところです。

〔議員〕 次に、市では除排雪に関する情報をICTを活用し、除排雪業者とやり取りしていますが、このことについて聞かせてください。

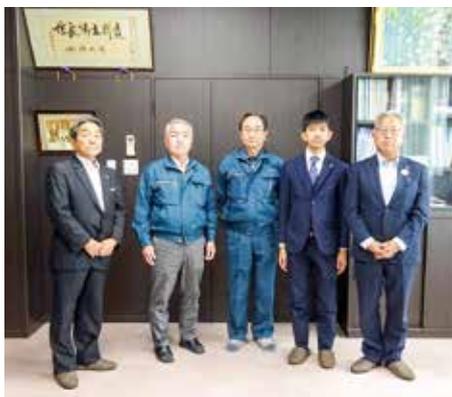
〔西田部長〕 すごくいいことだと思います。情報共有が図られますし、また、若い人は興味を持つ人がいるので、ますますそういうことを進めてほしいと思います。

〔議員〕 最後に、今は、若い方の働き方の意識も変わってきていると

思いますが、いわゆる働き方改革への対応の苦労はありますか？

〔佐々木専務〕 残業時間の規制があり、週休2日制も採用しているのです。週休2日制も採用しているのです。ですが、若い人からの、もっと働きたい、土日の出勤や毎日残業もできるといいう声も聞こえてはいるんです。その人たちの声、モチベーションを何とかいい方向で取り入れたいと思います。法律の壁があっても難しい状況です。

〔議員〕 建設業が直面している苦労や努力が分かりました。今日はありがとうございました。



(取材日：令和6年10月28日)

左から、大矢議員、佐々木専務、西田部長、木村議員、柿崎議員

青森市議会

議決した主な議案です。

令和6年第4回定例会

会期28日間 11月28日～12月25日

第4回定例会で可決等した議案

市長提出議案43件中……………43件

(承認1件、可決39件、

同意3件)

議員提出議案2件中……………1件

(可決)

請願1件中……………1件

(採択)

■ 以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和6年度12月補正予算案を可決しました

今期定例会では一般会計予算に関する議案として、開会日に返礼品の調達等に要する経費等を措置する補正予算案(第4号)のほか、本会議4日目には、給与改定等に伴う職員の給与に関する必要経費を措置する補正予算案(第5号)が提出されました。

また、閉会日には、物価高の影響を受ける方に当面の支援を行うために、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付するための経費等を措置する補正予算案(第6号)が提出されました。

市議会では、これら議案について、全会一致で可決し、補正後の令和6年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

● **令和6年度青森市一般会計補正予算額** 42億2千337万5千円
補正後の予算額 1千352億4千114万円

その2

青森市職員定数条例の一部を改正する条例案を可決しました

● 青森市職員定数条例の一部を改正する条例

今期定例会では、新たに令和6年度から令和10年度までの5か年を計画期間とする青森市総合計画前期基本計画及び青森市行財政改革プランを策定したことに伴い、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、近年の行政サービスの変化を踏まえ、また、適正な定員管理、人員配置を行うに当たり、様々な状況に柔軟かつ効率的に対応していくため、職員定数の余裕部分を一定程度確保したまま、職員定数の規模を適正化しようとするもので、現行条例定数3千260人を3千242人に見直しする改正を行うものです。

市議会では、同案について、原案のとおり可決しました。

その3

青森市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

今期定例会では、青森市民病院における一般病床数を削減するための条例案が提案されました。

改正内容については、青森地域における病床数が青森県地域医療構想で定める必要病床数を上回っていること、また、今後、少子・高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、医師・看護師等の医療従事者不足が、ますます深刻化することが予想されることを踏まえ、より質の高い医療提供を目指していくため、許可病床数を適正規模に見直すもので、現在の許可病床459床から、現に休床している107床を削減し、現在の稼働病床数と同じ352床とするものです。

市議会では、同案について、原案のとおり可決しました。

その4

青森市水道事業条例等の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市水道事業条例等の一部を改正する条例

今期定例会では、水道メーターの検針業務に係る委託費用の削減を図るため、また、本年3月の水道法施行令及び水道法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、青森市水道事業条例において、水道メーターの隔月検針を可能とし、2か月分の使用水量を各月均等とみなして水道料金の算定を可能とするほか、布設工事監督者等の資格要件の見直しなどを行うものです。

また、青森市下水道条例及び青森市農業集落排水施設条例においても、水道料金と同様、2か月分の使用料の算定を可能とするため改正を行うものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

議会の人事を紹介します

今期定例会では、委員会等の改組に伴う新たな議会の人事を決定しました。

特別委員会

◎は委員長、○は副委員長

雪対策特別委員会（8名）

雪対策に関することを所管します。

◎赤平勇人、○竹山美虎、蛭名和子、
館山善也、小倉尚裕、渡部伸広、
花田明仁、大矢保

危機管理対策特別委員会（8名）

雪害を除いた自然災害の防災や感染症対策、鳥獣被害に関することを所管します。

◎澁谷洋子、○工藤夕介、木村淳司、
中村美津緒、天内慎也、工藤健、
小豆畑緑、奈良岡隆

協議又は調整の場

◎は会長、○は副会長

議会だより編集会議（8名）

議会広報紙の編集について協議を行います。

◎山本武朝、○柿崎孝治、小熊ひと美、
山田千里、奈良祥孝、村川みどり、
長谷川章悦、里村誠悦

議会広報広聴推進会議（8名）

議会広報広聴の推進について協議を行います。

◎藤田誠、○木戸喜美男、相馬純子、
中田靖人、関貴光、万徳なお子、
軽米智雅子、木下靖

質 問 ・ 質 疑

こんなことを

聞きました。

第4回定例会において行われた一般質問、予算特別委員会等の議案質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

● 質問・質疑を行った議員・委員数

● 第4回定例会

一般質問……………25名
 予算特別委員会……………17名
 (藤田委員長、澁谷副委員長)
 議案質疑(閉会日)……………1名

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしていますので、下の2次元コードからアクセスの上、御覧ください。



防 災



青森市総合防災訓練
 について
 無所属 相馬 純子
そうま じゅんこ

Q 令和6年9月の青森市総合防災訓練で行われた、医療的ケア児を対象とした実動避難訓練における課題と対策をお示しください。

A 総務部長 訓練後の振り返り会議において、歩道の段差や、医療的ケア児の居室と同じ並びに発熱者の待機室を設置していたことなど、避難経路、避難所の環境等の課題が挙げられました。対策については、医療的ケア児とその御家族が自ら対策いただくもののほか、避難所の環境については施設管理者と協議し、速やかに対応できるものから実施することとしています。

総 務



アウガに係る
 遅延損害金について
 無所属 中村 美津緒
なかむら みつお

Q アウガの滞納賃料の支払い請求事案件に係る遅延損害金及び債権の消滅時効についてお示しください。

A 総務部長 遅延損害金については、令和6年11月1日時点で1千679万9千394円となっています。消滅時効については、令和4年1月20日の翌日から10年であり、相手方に対して法的手続を行った場合等に時効が更新されることとなります。現時点では、民事執行法に規定されている財産開示手続を実施した令和4年4月25日の翌日から新たに消滅時効の進行が始まったところですので。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

※各議員が行った全ての質問・質疑のうち、一項目だけを選択して掲載しています

総務

A 総務部長 本市では、不当な要求等に対しては組織として対応することとしており、その対応についての研修を実施し、特定の職員に負担が偏ることがないよう取り組んでいます。また、当該ハラスメントに特化した条例を制定した自治体等があることを承知しており、本市としても、対策の必要性は認識していることから、現在、他都市の事例や動向を注視しながら、具体的な検討を進めております。



カスタマーハラスメント
対策について

市民クラブ 工藤 健

Q 本市の職員に対するカスタマーハラスメントと思われる被害への対策についてお示しください。

総務

A 総務部長 本市の総合評価落札方式においては、地域貢献に関する評価項目などによって算出する価格以外の評価点と、入札価格によって算出する価格評価点を合算した評価値が最も高い事業者を落札候補者としており、工物品質の低下防止及び受注機会の拡大にも努めているところです。



総合評価落札方式
について

市民クラブ 大矢 保

Q 同方式は、価格以外の評価点の評価項目における、企業の施工実績のうち、市発注の4年間の工事成績評定の平均点による配点によって左右されていると思いますが、市の考えをお示しください。

税

A 税務部長 103万円の壁とは、年間の給与収入が基礎控除額48万円と給与所得控除額55万円の合計である103万円を超えると所得税の課税対象となることを指します。当該103万円の壁が178万円に引き上げとなった場合、差額である75万円が個人市民税の基礎控除額に上乗せとなったものと仮定し、本年度分の課税データをを用いて試算すると、本市においては約45億円の減収が見込まれます。



103万円の壁について

公明党 山本 武朝

Q 年収103万円の壁を178万円に引き上げた場合、本市の税収に及ぼす影響額をお示しください。

パート主婦で影響が大きいのは 106万円 130万円の壁

所得区分	103万円以下	103万円超	178万円以下	178万円超
給与所得	48万円	48万円	48万円	48万円
給与所得控除	55万円	55万円	55万円	55万円
合計	103万円	103万円	103万円	103万円
基礎控除	48万円	48万円	48万円	48万円
課税所得	0円	55万円	55万円	55万円
所得税	0円	約10万円	約10万円	約10万円
住民税	約10万円	約10万円	約10万円	約10万円
合計	約10万円	約20万円	約20万円	約20万円

影響大

市民生活



子ども医療費助成の医療証
(受給者証)の電子化について

創青会
木村 淳司

Q マイナンバーカードを子ども医療費助成の医療証として活用することは可能なのかお示しください。

A 税務部長 国では、医療DXを推進するため、地方単独の子ども医療費助成等に関する情報を同力での活用により、自治体・医療機関・対象者間での共有が可能となる情報連携システムを整備しています。健康保険の被保険者情報と同時に受給者情報をオンラインで資格確認できる体制を令和8年度以降に構築していくこととされていることから、導入に向け、今後の動向を注視してまいります。



投票済証について

公明党
軽米 智雅子

Q 令和6年10月執行の衆議院議員総選挙から変更した投票済証の概要と交付枚数をお示しください。

選挙
このたびは、投票済証の枚数は6千789枚で、このうち選挙人以外の子どもへは2千686枚となっています。



投票済証(左)と起用予定のキャラクターの一覧(右)

A 選挙管理委員会事務局長 選挙啓発の一環として、投票済証を本市のキャラクターを載せたしおり型に変更し、選挙ごとに違うキャラクターを起用するほか、親子等で投票所に足を運んだ際、選挙権のない子どもにも交付することで若年層への選挙啓発の推進を図るものです。このたび交付した投票済証の枚数は6千789枚で、このうち選挙人以外の子どもへは2千686枚となっています。

防災



地下式消火栓について

日本共産党
村川 みどり

Q 市民から、今まで地上にあった消火栓が地下に埋め込まれて、雪が積もったときは大丈夫なのかという不安の声が寄せられました。冬期間の火災において、地下式消火栓の使用について支障がないことをしっかり周知すべきだと思いますが、市の考えをお示しください。

A 消防長 市では、降雪期の火災に備えた取組について、あおり消防広報紙等を活用し、周知に努めてきました。今後は、地下式消火栓の概要や消火活動に支障がないことを、これまでの広報内容に加え、周知を図ってまいります。

地域コミュニティ



町会活動保険について

日本共産党
赤平 勇人
あかひら ゆうと

Q 町会が行う様々な活動の中での事故に備え、独自で保険加入する町会がある中、市で一括して保険に加入してほしいという声があります。他自治体でも実施事例があり、本市としても町会が安心して活動できるよう、活動保険に加入する考えはないかお示してください。

A 市民部長 市では、当該保険に自治体が加入している事例があることは認識しています。現段階では市による保険の加入は考えていませんが、町会等への支援の手法について、今後も、他自治体の取組を注視してまいります。

市民生活



防犯カメラの設置について

公明党
渡部 伸広
わたべ のぶひろ

Q 今年度から実施している地区防犯協会との連携による防犯カメラ設置の進捗状況をお示してください。

A 市長 街頭犯罪や声かけ等の前兆事案の発生状況を基に、同協会、警察、市が協議の上、設置場所の選定を行い、南・浦町・古川・浪岡中学校、長島・浜田・大野・堤・橋本・浦町・葭町・古川・千刈小学校付近の通学路のほか、青森駅前・浜田中央・本町公園、青森駅前ビーチ周辺の合わせて17か所に約60台設置することとし、同協会において、今年度内に設置が完了する見込みです。

観光



歴史・文化に関するパンフレット等について

創青会
里村 誠悦
さとむら まこと

Q 本市には、多くの歴史、民話等があることから、観光客・市民向けの歴史・文化に関するパンフレットや絵本を作成することについて、市の考えをお示してください。

A 経済部長 市ではこれまで、市のホームページ「あおもり歴史トリビア」や、観光パンフレット「NIIPPONここだけ青森市」において、神社・仏閣、歴史等の情報発信に取り組んできました。絵本の作成については、まち歩きを促進する一つの手法となることから、関係者と連携し、他都市の事例等を研究してまいります。

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

観光



観光対策について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

Q 青森市イベント情報集約サイトの運用状況についてお示しください。

A 経済部長 同サイトは市内のイベント情報のほか、過去の宿泊施設の混雑状況、宿泊プランの比較検索機能を集約することで、イベント開催の活性化と宿泊需要の平準化を目的に、令和6年7月30日に開設し、ウェブ上で公開されたイベント情報をAIを活用して収集・配信しています。閲覧数は8月が5千906回、9月は1万3千40回、10月は1万5千540回と毎月増加しており、今後も当サイトの周知に尽力してまいります。

スポーツ



Jリーグのキャンプ誘致について

創青会 館山 善也
たけやま よしや

Q 現在、Jリーグの開幕時期は2月ですが、令和8年からは8月に変更することが決定しました。開幕前のキャンプは涼しい地域での実施が予想されることから、キャンプ誘致に取り組むべきと思います。が、市の考えをお示しください。

A 経済部長 Jリーグのキャンプについては、選手など多くのチーム関係者等が訪れることによる経済的効果のほか、プロ選手のプレーを間近に触れる機会は、スポーツ振興につながるものと認識していることから、競技団体と連携し、誘致に向け取り組んでまいります。

アリーナ



青森市総合体育館のキッズルームについて

自民クラブ 小豆畑 緑
あずまはた みどり

Q 私は、当該キッズルームについて、誰もがひとしく遊べるように、9月議会で混雑緩和策を提案しました。令和6年12月から新たに実施することになった混雑緩和策の内容についてお示しください。

A 経済部長 利用者や議員からの要望等を踏まえ、指定管理者との協議の結果、混雑緩和策として、土日・祝日及び冬休み等の長期休みにおいては、午前9時から午後5時30分までは、おおむね1時間30分ごとに利用者を入れ替えることとし、当日に限り再入場を可能とする運営方法を導入しました。

教育



コミュニティ・
スクールについて
自民クラブ 澁谷 洋子
しづたに ようこ

Q コミュニティ・スクールの成果についてお示しく下さい。

A 教育長 当該スクールは、学校と保護者や地域の皆様の意見を学校運営に反映させ、地域と共にある学校づくりを進める仕組みです。その成果として、浪岡中学校区では地区の校長会の委員の意見等により、命の授業などが実施されていることや、荒川中学校区では地域から学び、地域とつながり、主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指し、児童・生徒と地域住民が一緒になった炊事体験等が実施されていることなどが挙げられます。

教育



浪岡地区への学校給食の
配送に要する時間について
日本共産党 天内 慎也
あまのい しんや

Q これまで、最も遠い浪岡野沢小学校が東陽小学校等と同程度の所要時間で配送可能と答えてきたが、平野部と山間部の地理的要因が異なり、同程度と言えないと考えますが、市の見解をお示しく下さい。

A 教育部長 当該所要時間については、配送車で実際に試走し、計測した結果、同程度の所要時間で配送可能と申し上げてきたものです。小学校給食センターからの配送に当たり、地理的要因のほか、信号の数や交通量等、配送に要する時間に影響を与える要因は様々なものがある認識しています。

教育



不登校生徒の
成績評価について
無所属 山田 千里
やまだ ちさと

Q 不登校生徒や保護者にとって、不登校になってからの成績評価が進路を決める際の不安要素になると思います。不登校生徒の成績評価において、どのような取組が行われているかお示しく下さい。

A 教育長 市では、不登校児童・生徒が個別のプログラムにより家庭や校内教育支援センターで学習した内容について、適切に評価が結びつけるよう指導してきたところです。現在、各学校においては、個別のプログラムに基づき行った学習活動を評価に結びつける取組が行われています。

教育



一部教科担任制について

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 教育の質を高めるために教科担任制を進めるべきと思います。学校の規模に応じた教科担任制の現状をお示しくください。

A **教育長** 本市の高学年における教科担任制の実施状況については、1学年4学級の小学校では平均9教科、1学年3学級の小学校では平均7.1教科、1学年2学級の小学校では平均5.3教科、1学年1学級の小学校では平均3.7教科であり、小規模校になるほど配置される教員数が少なくなることから、教科担任制の実施教科数が減る状況となっています。

都市整備



街路樹整備の

考え方について

市民クラブ 木下 靖

Q 青森市緑の基本計画に関連し、本市の街路樹を含めた緑化推進の考え方についてお示しくください。

A **都市整備部長** 市では、街路樹にテーマ性を待たせる等、質の高い整備を行うこととし、緑の連続性の確保と景観形成のため街路樹の剪定や植樹ますの草刈り等を行っています。維持管理については、樹木の腐朽による幹の亀裂や枯れ枝等で安全の確保が疑われる場合、樹木が過密状態で環境が損なわれる場合などが確認された際には、緊急度・優先度を判断して伐採等の対応をしています。

都市整備



1号遊歩道緑地の

樹木の伐採について

立憲民主・社民 小熊 ひと美

Q 今年度、実施区間にあった110本の樹木のうち94本の樹木を伐採したとのことですが、高さを制限する芯止めなど、伐採以外の対応はできなかつたのかお示しくください。

A **都市整備部長** 当該実施区間に植樹されている樹木の多くは10メートル以上であったことに加え、隣接する家屋等に近い位置に植栽されていたことなどから、樹高を抑える作業を行ったとしても安全対策としては不十分であり、隣接する家屋や電線等への施設被害の可能性があると判断したことから、伐採作業を行ったものです。



伐採前の様子

伐採後の様子

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

※各議員が行った全ての質問・質疑のうち、一項目だけを選択して掲載しています

都市整備

A 都市整備理事 総延長12.6キロメートルの国道7号浪岡バイパスのうち大釈迦から鶴ヶ坂の約2.1キロメートルは事業休止となっています。令和3年12月に、スタック車両により約7時間に及ぶ通行止めが発生したことを受け、令和5年度に休止区間を含む延長3.7キロメートルが当該事業として事業化され、4車線拡幅及び一部線形改良へ向け、昨年度は路線測量、今年度は地質調査と設計が実施されていると聞いています。



大釈迦―鶴ヶ坂間（国道7号）の拡幅について

創青会 小倉 尚裕

Q 国道7号鶴ヶ坂防災事業の進捗状況についてお示しください。

A 都市整備理事

A 都市整備理事

Q 歩道の街路樹が伐採された植樹ますの対応状況をお示しください。



歩道の街路樹について

日本共産党 万徳 なお子

都市整備

たつては、樹木に腐朽の進行による幹の亀裂等が確認される場合などの状況を踏まえ、緊急度・優先度を判断し、伐採等の対応をしており、市道の約1万1千か所の植樹ますのうち、伐採した植樹ますは約1千100か所となっています。また、伐採後の切り株の撤去件数については、令和3年度は実績がなく、令和4年度7件、令和5年度7件、令和6年度は令和6年11月現在で12件となっています。



植樹ますに残る伐採後の切り株

水道

Q 鶴ヶ坂地区が水道未整備の状態にありながら、同プランでは、第3期拡張事業を終了したような表現のため、文言修正を求めた意見に対する市の対応をお示しください。

A 企業局長 平成16年に堤川浄水場の整備等が完成を迎え、同地区を含む計画給水区域内全域に水道水を供給できる浄水施設能力を確保できたため事業を終了し、未整備地区について実施しないとしましたのではなく、整備に向けた環境を整えば新事業として実施できることから、誤解を招かないよう、その旨を同プランに追記しました。



青森市水道経営プラン策定時のわたしの意見提案制度における意見について

自民クラブ 関 貴光

交通



A 企業局長 市では、大型ノンストップバスの導入や、障がいのある方がバスの乗車・利用方法などを体験する機会の提供に取り組んでいます。今年度は、青森第一高等養護学校の全校生徒47名や、青森第二養護学校の小学部2・3年の児童を対象に、バスの乗車体験を実施したほか、八甲田丸港フェスタなどの各種イベントで、バリアフリーバスを展示するなど、車椅子利用者を対象としたバス乗車体験などを行っています。



障がいのある方を対象としたバス利用について

自民クラブ
柿崎 孝治

Q 障がいのある方を対象としたバス利用に係る取組をお示しくください。

ごみ処理

A 環境部長 令和6年7月から10月にかけて、全405町会・町内会を対象に、ごみ出しに困っている状況等を調査項目としてアンケート調査を実施しました。その結果、年齢や身体的な理由から日常的にごみ出しに困っているため支援が必要と思われる世帯は221世帯あるなど、一定のニーズがあることを把握できたことから、今後も引き続き他都市の事例調査を進め、本市における当該支援の在り方について検討してまいります。



高齢者等へのごみ出し支援について

立憲民主・社民
藤田 誠

Q 当該支援に関するアンケート結果と今後の対応をお示しくください。

福祉

A 福祉部長 ふれあいの館については、先般、青森市身体障がい者福祉連合会理事会において、市へのフローリング改修工事の要望書の提出が議決されたことなどを踏まえ、市では、当該工事について、関係部局と協議してまいります。



ふれあいの館について

創青会
木戸 喜美男

Q ふれあいの館では、目の不自由な方は、入り口やトイレでスリッパに履き替える際、空いているげた箱やスリッパを触って探さなければならず、大変な思いをしています。当該施設を外履きのまま利用できるようにするべきと思います。市の考えをお示しくください。

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

子育て

A 市長 今年度は、子ども会議委員30名と子どもサポーター4名が、気になるスポットなどの現地調査等を行い、インスタグラムを活用して情報発信し、本市の魅力をシェアするグループと、中高生の遊べる場所などの調査等を行い、街をアップデートするグループに分かれ、これまで計17回活動し、これら取組を通し気づいたこと等については、令和6年11月に開催した青森市子ども会議フォーラムで意見提案してもらいました。

Q 令和6年度青森市子ども会議の活動概要についてお示しくください。



青森市子ども会議

について

公明党 工藤 夕介
くどう ゆづりけ

病院

A 市長 統合新病院への救急搬送等がスムーズに行えるよう、様々なアクセス対策を進めることとしており、今後、具体的な対策の検討の中で、東部地区からのアクセスにも十分配慮した対策を講じたいと考えております。県病の跡地利用についても、移転時期を見据え、造道周辺地区が東部地区の生活拠点区域としての機能を果たせるようなまちづくりを進めていきます。

Q 現在の県病がある造道周辺地区の医療の空洞化が懸念されることから、対策が必要と考えますが、市長の考えをお示しくください。



共同経営・統合新病院

について

自民クラブ 中田 靖人
なかた やすひと

病院

A 市民病院事務局長 統合新病院では、外来診療部門の基本方針の一つとして、患者の利便性向上や待ち時間短縮による患者サービスの向上を図ることとしています。総合案内等については、ブロック受付方式等の採用のほか、スマートフォンと連携する患者呼び出しシステムなどにより、利便性の向上を図ること等も検討しています。

Q 統合新病院では、多くの患者が集中し、一層の混雑が見込まれます。外来診療において、どのように待ち時間の短縮を図るのかお示ください。



共同経営・統合新病院

について

立憲民主・社民 蛭名 和子
えひな かずこ

※ブロック受付とは、診療科や部門ごとの受付ではなく、複数診療科や部門、近接する機能ごとにまとめた受付方式のこと。

議会の人事を紹介します

今期定例会において新たに決定した議会の人事のうち、議会運営委員会及び各常任委員会の役割とメンバーについて紹介します。

※ ◎は委員長、○は副委員長

議会運営委員会（7名）

本会議の会期及び日程、議案の取扱いなど、議会運営について協議する委員会です。



常任委員会

その部門に属する事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する委員会です。

総務企画常任委員会（8名）

所管：総務部、企画部、税務部、消防等



文教経済常任委員会（8名）

所管：市民部、経済部、農林水産部、教育委員会等



都市建設常任委員会（8名）

所管：都市整備部、企業局水道部・交通部



民生環境常任委員会（8名）

所管：環境部、福祉部、保健部及び病院



令和6年第2回「議員とカダる会」を開催しました

「議員とカダる会」（議会報告・意見交換会）につきましては、令和6年11月に、市内4会場でお記のとおり開催いたしました。頂いた多くの貴重なご意見につきましては、市議会として今後の活動に生かしてまいります。なお、各会場の報告書や、頂いたご意見等のうち「議会の意見」として執行機関に求めた回答については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

日にち	場所	テーマ
11/5	西部市民センター	高齢者福祉について
11/6	青森大学	青森市への思い～若者の人口流出について～
11/6	沖館市民センター	バスについて
11/8	青森市役所柳川庁舎	移住定住促進事業について



報告書等への
2次元コード

編集後記

会長 山本 武朝

このたび、改組のため議会だより編集会議が新体制となり、私自身も久しぶりに編集委員となりました。各委員が協力し合い、これまで同様、市民の皆様が読みやすく、議会活動が分かる紙面づくりに努めてまいります。再び議会報コンクールで賞を取る思いで奮闘いたしますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年第4回定例会の傍聴者は76人、インターネット生中継へのアクセス件数は1,783件でした。
令和7年第1回定例会は2月20日開会の予定です。



市議会ホームページ <http://www.city.aomori.aomori.jp/gikai/index.html>